



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第185号 (平成 30 年 1 月 17 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
「平成 29 年度林業機械化推進シンポジウム」の開催及び参加者の募集について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(126)
- 3 <森林・林業白書から>「つまもの」生産で女性が活躍
- 4 <樹をとりまくはなし>(6) タケの本気
- 5 <イベント情報>
◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018
☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
「平成 29 年度林業機械化推進シンポジウム」の開催及び参加者の募集について
-

林野庁及び一般社団法人フォレスト・サーベイは、平成 30 年 2 月 9 日(金曜日)に、『イノベーションで働きやすい林業を目指して』をテーマに「平成 29 年度林業機械化推進シンポジウム」を国立オリンピック記念青少年総合センターで開催します。本シンポジウムは公開でカメラ撮影も可能です。

1 概要

近年、我が国の林業は機械化が進展し、車両系作業システムではプロセッサ・フォワーダを中心とした作業システムが定着しつつあり、また、架線系作業システムではスイングヤーダが全国に普及するとともにタワーヤーダも徐々に広がりを見せています。一方で、傾斜地での伐木作業や造林作業などで機械化が進んでいないことなどもあり、林業は他産業と比べて労働災害発生率が高く、生産性の向上にも大きな課題が残っています。

本シンポジウムでは、厳しい環境下でも労働災害の防止や作業の軽労化を図り、かつ、生産性を高めることにより、林業に従事する人たちの暮らしを豊かにする林業機械のイノベーションについて考えます。

2 開催日時・場所

日時:平成 30 年 2 月 9 日(金曜日)11 時 00 分～15 時 30 分(開場 10 時 30 分)
 会場:国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール

所在地:東京都渋谷区代々木神園町3の1

3 プログラム

第1部(11時00分~12時30分)

情報提供

「林野庁における林業機械開発事業の概要」林野庁研究指導課

基調講演

「新しい林業労働への展開~3K労働から新3K労働へ~」

東京農業大学教授 今富 裕樹氏

第2部(13時30分~15時30分)

事例報告

「素材生産・造林の一貫作業の推進と安全作業への取組」東部林業株式会社

「完全油圧制御の集材機がもたらす架線集材作業における効果」

株式会社前田製作所、長野県林業総合センター

「林業における繊維ロープの活用と技術」東京製綱繊維ロープ株式会社

「森林・林業における無人航空機”ドローン”の積極的な活用について~紀州・和歌山から発進~」上道キカイ株式会社

「ICTを林業で活用するには」

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所

4 参加可能人数

300名

先着で受付し、定員となりましたら締切りとなります。

5 参加申込要領

(1)参加費:無料です。

(2)申込方法:事前申込制です。

参加を希望される方は、以下のURLのウェブサイト又は申込書にてお申込みください。

<ウェブサイトによる申込先:一般社団法人フォレスト・サーベイのホームページ>

URL:<http://www.f-survey.jp/>

<FAXによる申込先>

宛先:一般社団法人フォレスト・サーベイ宛

FAX番号:03-6737-1298

FAX申請書は添付資料を御活用ください。

(3)申込締切:平成30年1月31日(水曜日)

(4)申込みに関するお問合せ先

本シンポジウムの事務局

一般社団法人フォレスト・サーベイ

担当者:渡辺、西原、大山

TEL:03-6737-1297

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(126)

柳原の暮らす北海道名寄市は深い雪の中です。もう少し雪が固くなったらスノーシューを履いて森の観察ができますが、今は冬ごもりしています！ということで、今回は森

林環境教育を行っている皆さんと考えてみたいと思います。柳原は、幼児(園児)に「これなあに？」と植物や動物の名前を聞かれた時に、「これはコナラのドングリだね！」と植物名をきちんと答えています。「幼児に細かい識別をすることは、かえって興味を後退させるので良くない。」と意見されたこともあります。でも、このスタイルは変えていません。幼児だからこそきちんとしたことを伝えたいからです。以前、2歳前後の幼児から「ねえ、ちえんちえい、これなあに？」と聞かれ、少し迷いましたが「これはムラサキシキブという花だよ、綺麗だね！」と教えると、その幼児は「ムラチャキシキブ・・・」と名前を覚え、他の個体も識別していました。この時に、「子どもだまし」は止めよう、しっかり教えようと決めたからです。だって彼らはゲームのキャラクターの長い名前も覚え、特徴も理解しているではないでしょうか？皆さんはいかがお考えでしょうか？

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 「つまもの」生産で女性が活躍

愛知県岡崎市にある額田林業クラブ女性部では、「つまもの」の生産や出荷を行っている。「つまもの」とは、旅館や料亭、料理店等で出される料理に添えられる葉や花のことであり、扱う対象が軽量であることから、女性や高齢者も取り組めるといった特徴がある。同クラブのメンバーは、各自の所有林において出荷対象となる樹木等を植栽し、収穫している。四季により様々な「つまもの」を出荷するため、年間の出荷品目は80種を超える。同クラブでは、出荷する「つまもの」の品質を保つため、季節ごとに「目揃え会」と呼ばれる出荷物の点検を行っているほか、安定して生産するため、植栽場所の配慮、施肥、剪定、シカ被害防止のための網の設置など、工夫して管理を行っている。また、出荷先の市場の担当者を招き、求められる品質や、品物を細かく把握することに努めている。さらに、生産する「つまもの」の品質向上等のため、「つまもの」の生産を行っている他の地域を視察するなど、他団体との交流を深めるとともに、情報交換を行っている。このような取組により、現在では市場のニーズを踏まえた商品を安定した量・質で出荷しており、出荷先からの信頼を得ている。同クラブでは、今後もメンバーで協力し合い、「つまもの」生産に取り組むこととしている

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(6) タケの本気

都内の公園の植生調査をしていたら、タケがずいぶん繁茂していました。最初マダケかと思っていましたが、よく見ると違います。園芸で植えられる細いタケでした。公園のかなりの面積に広がっているので「タケを植えたのかな？」と思いましたが、竹林の公園でもないようです。ぐるりと歩いてみると近くに民家の門の両脇に植えられているタケと一緒にあります。「えーここに植えたタケが、こんなに公園を侵略してしまうんだ」と驚愕しました。

当初民家のタケは狭い場所に少し植えたのだと思います。それがどんどん公園に伸びて、タケの公園となってしまいました。タケは六本木などでは狭い場所に竹が植えられ、元気はありませんが、地続きであればどんどん開拓して本領を発揮します。

5 <イベント情報>

◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018

◆緑のボランティア活動 助成セミナー2018

国土緑化推進機構では、平成30年度「緑の募金」及び「緑と水の森林ファンド」で助成支援する緑のボランティア活動を募集します。(2月15日～3月末日締切)

「緑の募金」と「緑と水の森林ファンド」では、新たな助成メニューと重点事項を定め、子どもたちの森づくりや次世代育成を支援します。

この助成プログラムの紹介と相談会、「次世代につなぐ森林づくり」をテーマにした助成セミナーを開催します。

シニア世代から親子世代まで多様な方々を森林づくり活動に巻き込み企画運営の担い手となるよう工夫して成果をあげている事例等から今後の森林づくりの可能性と活動のヒントやコツを共有します。

☆ 参加者には、冊子『森林・里山と人がつながる社会をめざしてー次世代につながるプロジェクト運営と組織づくり』をプレゼントします！

【日時】2018年2月16日(金)、2月17日(土)

【会場】弘済会館 4階(東京都千代田区麹町5-1)

【主催】公益社団法人 国土緑化推進機構

【内容】

○ 2月16日(金) 13:00～17:45

助成プログラム紹介、協力企業報告、活動事例紹介、ポスター展示、相談会、
(終了後 交流会あり)

○ 2月17日(土) 9:30～14:00

話題提供、テーマ別セッショントーク、総括

【詳細・申し込み】下記 URL からお願いします。(FAX・メールでも可)

<http://www.green.or.jp/bokin/18021617bokin>

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====
☆ 事務局から

=====
今年も森林環境教育ネットワークメールマガジンをよろしくお願いします。

わたしの美しの森フォトコンテスト(わたしの美しの森フォトコンテスト実行委員会主催)の締切(2月13日)が近づいています。応募方法等については、林野庁ホームページ

